



森と海の自然科「テーマ：海」

令和6年6月3日

友ヶ島の海岸植物観察と旧日本軍要塞跡見学の記録

担当：Cグループ

案内：李三

記録：荘村

1. 日時： 令和6年5月30日(木)10時20分
2. 集合場所： 南海加太線 加太駅
3. 参加者： 15名 (個人名の記載は省略させていただきます。)
4. 行程： 南海加太駅(10:30スタート)～加太港～友ヶ島(野奈浦栈橋)～タカノス山展望台(昼食)～第3砲台跡～孝助松海岸～友ヶ島灯台～子午線広場～蛇ヶ池～野奈浦栈橋～加太港～南海加太駅(16:10解散)

この例会は梅雨入り前の実施となり雨の予報も出ていましたが、午前中は好天に恵まれ陽光を感じることができ、昼からも雨に遭わずまあまあの天気での散策となりました。

加太港から連絡船に乗り約20分で瀬戸内海国立公園友ヶ島に到着し11:40頃植物観察を兼ねた島内散策を開始する。始めに目についたのは大きく光沢のある葉っぱをもつバラ科キイチゴ属のハウロクイチゴで西日本の海岸暖地に群生している。



野奈浦栈橋前の観光案内板



ハウロクイチゴ



第3砲台跡で集合写真

昼食を紀淡海峡を望むタカノス山展望台でとった後、島内最大規模の第3砲台跡を見学する。戦後80年近くになるが当時の地下施設が程よく保存されている。タカノス山からの下山途中で友ヶ島名物の”台湾リス”に出くわす。見た目には可愛いが日本各地で食害をおこし特定外来生物に指定されている。



台湾リス



ハマボス



日本最南端子午線塔のある広場

孝助松海岸で代表的海浜植物の1つであるサクラソウ科オカトラノオ属ハマボスの花がひっそりと咲いているのを見つける。そのあと島の西端にある友ヶ島灯台をへて子午線広場からの眺望を楽しむ。蛇ヶ池の水際では想定外のカヤツリグサ科ヒトモススキ属ヒトモススキの群生を発見する。この植物はこの島のもう1つの池、深蛇池で湿地帯植物群落を形成しており、そこは和歌山県の天然記念物として指定されている。



ヒトモススキ



リスに食べられた松ぼっくり



リスによる剥皮か！

野奈浦広場手前の黒松林で再び台湾リスに出会うが、ここのリスは身をかくさず人なれしているようである。そこでリスの食べ残しと思われる松ぼっくりをたくさん見つける。

島の西北部分をほぼ1周(約3km)して15:00頃散策出発地の野奈浦栈橋に到着する。ここから連絡船と徒歩で予定通り全員無事に南海加太駅に16:10頃、到着し解散する。

《余 録》

島内散策中の山中でよく見かけた木の樹皮の剥離模様はリスによる食害だと思われる。ここ友ヶ島は無人島であり畑地はないが、農作物への実害が多発しリスが駆除対象になっている地域もある。